

分らないことや調べたいことがあったら図書館へ！

最近、図書館の目的について「文化・教養型から課題解決型へ」ということがいわれられています。文化・教養のために「読みたい本を読む」、これは必ずしも今すぐ必要とするわけではなく、この本でないと困るということもありません。

これに対して課題解決は自分の特定のテーマで、しかも迅速な対応が必要です。私たちの生活は課題だらけです。

例えば、自分がある病気の可能性があるのではないか、家族がある病気になったのだが、どうすればよいだろうか、家族に

市民の皆さんに身近な  
“役立つ図書館”  
を目指して  
中央図書館長 光浦温凉

高齢者がいるのだが、どう面倒をみたらよいか、このような課題がたくさんあります。それも、今すぐ、明日まで、3日以内などのように短期間のうちに必要になることもあります。かなり専門的な内容になると、調査・研究が必要になってきます。図書館ではこのような課題に対しての情報を調べた結果、いくつかの文献や考え方が見つかり、それが適切か見定めることができます。

図書館司書の大きな仕事として「レファレンス（読書・資料相談）」というものがあり、県立図書館などの大きな図書館には、そのための部屋やカウンタもありません。子育てで困ったり、行政の政策立案で困ったりしている人などは、課題解決のために図書館を役立ててください。

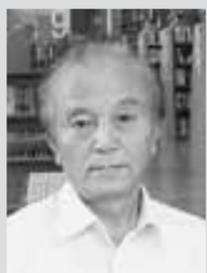
これから図書館は、仕事や子育て、生活に役立つ「行政支援、学校支援、子育て支援、ビジネス支援」のための図書館サービス機能を、市民の皆さんへ届けたいと思います。

高年齢者がいるのだが、どう面倒をみたらよいか、このような課題がたくさんあります。それも、今すぐ、明日まで、3日以内などのうちに必要になることもあります。かなり専門的な内容になると、調査・研究が必要になってきます。図書館ではこのような課題に対しての情報を調べた結果、いくつかの文献や考え方が見つかり、それが適切か見定めることができます。

出口佳奈さん  
「ピース(手芸)の本」  
「離乳食の本」  
妹が生まれたばかりなので借りました。部活をしているのでスポーツの本も好きです。図書館は月10回くらい利用します。静かで落ち着くし、職員の人優しいです。



小林正治さん  
「平岩弓枝の本(はやぶさ新八御用帳)」  
時代小説や趣味の本が好きです。図書館は月に5回くらい利用します。日常生活を離れてストレス解消になります。



福島洋子さん  
「篠山早春譜」  
「シリウスの道」など  
福島美季さん  
「町長選挙」  
「亡国のイーゴス」など  
さまざまなジャンルの本が選べ、借りるにより家で本がかさばらずに済みます。リクエスト用紙があるので気軽に取り寄せてもらったり、迅速に対応してもらえ、よく利用します。

蔵岡智穂子さん  
「鏡の法則」など  
休日は家族4人で図書館に行くのが日課です。職員の方々がとてもよく、音楽も流れていてリラックスできます。

図書館で直撃アンケート！  
今日は何を借りましたか？  
読書を楽しんでいる人を図書館でキャッチ。ちょっと時間をもらい、それぞれの図書館利用法を聞いてみました。本で人生観が変わることだってあるんです。

河野光利さん・フサエさん夫婦  
「典子44歳 いま、伝えたい『典子は、今』あれから25年」  
図書館だよりに掲載していたので、読んでみたくて予約していました。好きな時、好きな本が読めるので図書館が好きです。

酒井才子さん  
「世界遺産の本」  
CDを借りるので図書館には毎週来ます。心に優しいBGMが流れていてホッと癒やされる場所です。

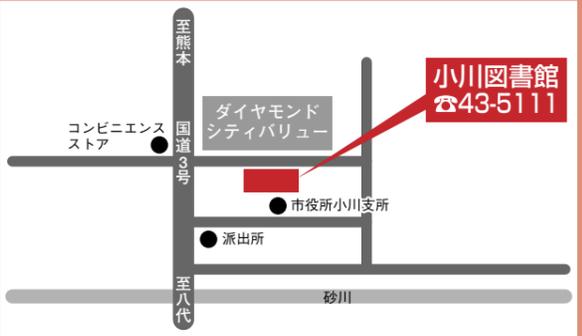
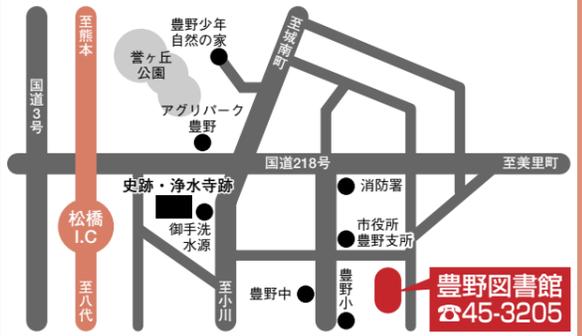
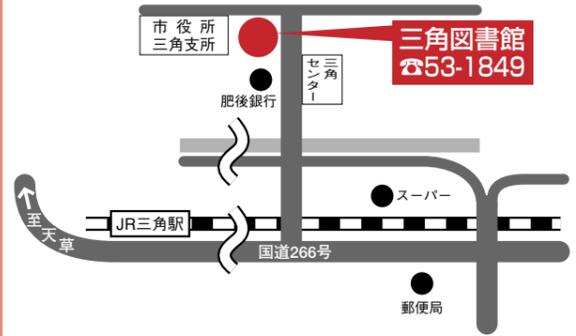


松岡美里さん・土屋文乃さん  
「うしろの正面だあれ」  
「こまったさんシリーズ」など  
おはなし会でいろんな人と会えるし、手作り工作があるので楽しいです。知らないお話が聞けるのでうれしいです。

山中光史君・小倉右京君  
平井良忠君  
「ケイタイ電話レストラン」  
「カブトムシの本」  
図書館は静かで涼しく、自由研究や宿題の参考になる本がたくさんあります。

宇城市の図書館の地図

開館時間  
午前10時～午後6時（平日）  
午前10時～午後5時（土・日・祝日）  
休館日  
月曜日（ただし祝日の時はその翌日）・第3金曜日  
館内整理日（毎月末日。ただし休館日の時はその翌日）・年末年始（12/28～1/4）・特別整理日（年間14日以内）



利用者をつなぐ 図書館はこんなこともやっています

一日図書館司書ボランティア



「人の役に立って楽しい！」  
子どもたちの感想です。  
体験することで、図書館への理解や本への興味・関心が育つことはもちろん、地域の人に「深く愛されている」という気持ちが芽生えます。

おはなし会



4月22日に行われた子ども読書の日記念ファンタジーの世界展 “たんすの扉をあけるとナルニアの氷の世界” ナルニア国でおはなし会の様子。ブックトークやナルニアクイズもありました。

ブックスタート

絵本を手渡すことで赤ちゃんや保護者がゆっくり向き合う時間を持つきっかけを作り、それを支援する事業です。  
人は3歳までに言葉の機能が出来上がります。特に0歳の時期は言葉の準備期間で、絵本でたくさん語り掛けることで「言葉の種」を心の引き出しに蓄えることができ、1歳を過ぎたころからそれが赤ちゃんの言葉として発達することになります。お腹の中から聞いてきたお母さんの声で語り掛けると、赤ちゃんの心が満たされ、情緒が安定して温かい心が育つとともに、愛されているという信頼感が育ちます。  
保健センターと図書館とが連携し、市では毎月3・4・5カ月児健康診断と相談時に保健センターで行っています。「いないいないばあ」と合わせて2冊の絵本をお母さんと赤ちゃんにプレゼントしています。また「赤ちゃんとお母さん向けのおはなし会」も行っています。



読み聞かせなどを行う図書館ボランティアを募集しています。興味がある人はお気軽に職員までお申し出ください。